

2025年度（令和7年度）学習会

広島県NIE公開セミナー（兼第115回広島県NIE学習会）

テーマ　被爆体験の継承を考える～はがき新聞の作成を通して～

日時：令和7年12月7日(日) 13:30～16:30

会場：中国新聞ビル

参加者：40名

第1部【講話】「あの日を、わたしは忘れない」

講師　　被爆体験証言者　　河野 キヨ美 さん



1931年、広島市旧高田郡市川村（現広島市安佐北区）生まれる。1945年8月7日、女学校2年生の時、入市被爆。その記憶を「原爆の絵」に描き、絵本『あの日を、わたしは忘れない』（勉誠社）を出版。2003年から中学生に被爆体験証言を行う。

2011年に米国ミズーリ州で、2013年に、ワシントン州、オレゴン州、ニューメキシコ州で、大学、高校、中学校にて証言を行った。

2025年、8月6日 原爆資料館で平和記念式典に参加した各國の大天使をはじめ、20以上の国々の関係者などおよそ150人にみずから体験を語った。

【講話内容】

「いくら年を取っても、忘れてても忘れられない」。河野キヨ美さんは80年前に見た記憶を静かに話し始めました。原爆投下の翌日に訪れた広島赤十字病院（現在の広島赤十字・原爆病院）で、円形の花壇に中学生たちの死体が放射状に積まれていました。「木材のように投げてあった」。その衝撃の光景を1枚の絵に描き残しました。

河野さんは当時、14歳の女学生で、高田郡市川村（現広島市安佐北区）に暮らしていました。学校では、集められたミシンで兵隊のシャツを縫つたり、なぎなたの訓練をしたりしていました。「今思えば馬鹿なことをしていたと思うが、鉢巻をした軍国少女だった」と振り返ります。

そして、「あの日」を迎えます。

「静かな朝だった。突然、近くで『ドカン！』と聞いたこともないような爆発音がした」。すぐさま外に飛び出しましたが、何も変わりありません。ふと見ると、広島の方角の山々から音もなく雲が沸き上がってきました。原子爆弾のキノコ雲でした。

翌日、母とともに2人の姉を探しに広島市内に向かいました。広島駅の一つ手前、矢野駅のホームに降り立つと、ものすごい悪臭に襲われました。家々が消え、目前には真っ黒い平野が広がるだけ。「鮮やかな緑の似島が遠くに見えたのが、深く印象に残った」

市街には、焼け焦げて男女の区別もつかず、目玉や内臓が流れ出て赤くふくらんだ死体があちらこちらに。「人生で一番怖かった」。ようやく姉たちの無事を確認し、帰路につきました。「最後は何も感じなくなって、どうやって家に帰ったのか、覚えていない」。少女時代に体験したショックの大きさがうかがえます。

75年間草木も生えないといわれた広島は、今、豊かな街になりました。しかし、ウクライナに侵攻したロシアが核兵器をちらつかせたるなど、河野さんには、世界は自分の思いとは逆行しているようにみえています。

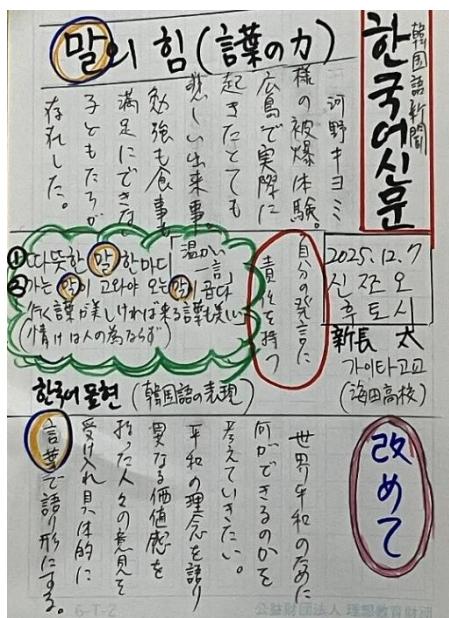
「被爆国の中には、核兵器廃絶と戦争の愚かさを伝えていく義務がある。心のうちに平和の灯をともし続け、戦争は絶対にダメだと思い続けてほしい」。私たちは大きなバトンを受け継いだのではないでしょうか。

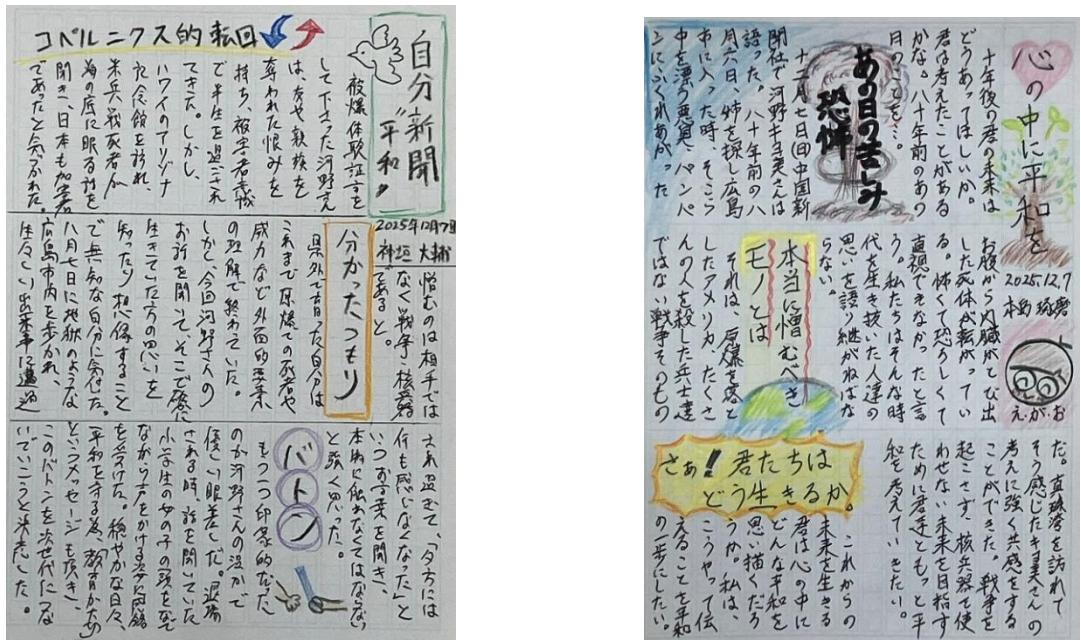
第2部 【はがき新聞の作成と交流】

講話を聴いて、参加者は「だれに」「何を」伝えたいかという視点ではがき新聞を作成しました。

【参加者が作成した新聞名】

繋いでいこうこの「思い」 原爆を知る。そして伝える。これから 平和新聞
核の未来は私たちが決める 灯新聞 ヒロシマのこと あの日を忘れてはいけない
平和新聞 HIROSIMA PEACE MESSAGE 私にできることは 繋ぐ
ヒロシマの心をつなぐ 河野キヨ美さんの講話から 灯新聞 平和な未来 体験をつなぐ
心の中に平和を ヒロシマをくり返さない ピースレポート ピース新聞 韓国語新聞
被爆体験者の願い 自分新聞《平和》 平和新聞 あの日を知る 「私の思い」
架け橋新聞 平和のとりで新聞～三人の孫へ～





【編集後記】

12月8日の深夜、青森県沖で大きな地震が発生し、北海道や岩手県など近隣に津波警報が出た。「すぐに高いところへ逃げてください」。テレビから各局のアナウンサーが強い口調で呼びかけ続けた。

その背景には、異常事態に遭遇しても「たいしたことはない」「自分は大丈夫」と思い込み、冷静でいようとする人間の心理がある。「正常性バイアス」といい、避難の遅れや被害の拡大につながる原因になる場合がある。

あの時の広島もそうだったのかもしれない。被爆体験伝承者の河野キヨ美さんは「あちこち空襲される中、広島に空襲がないのを不思議に思っていた」と振り返る。

「広島から多くの人がアメリカに働きに行っているから、広島は大丈夫よ」。そんな大人たちの話を半信半疑で聞いていた。

アメリカは早くから原爆を落とす計画を進めていた。威力を調べるために、広島を含めていくつか候補地を決め、その町は手つかずにしていただけだった。「私たちはそれを知らんだけだった」

広島・長崎の原爆投下以降、非人道的な兵器として「核のタブー」が維持されてきた。だが、ウクライナに侵攻したロシアは核兵器の使用をちらつかせた。

河野さんは被爆国日本には核兵器廃絶の義務があると語る。そのためにも「一人一人が心のうちに平和の灯を灯し、戦争は絶対にだめだと思い続けてほしい」

私たちは「もう核兵器は使われないだろう」と思い込んでいないか。そんな「正常性バイアス」に落ち込まないよう、河野さんの言葉を胸に刻んでいたい。

(事務局)

第113回広島県NIE学習会（兼ガイダンス）

テーマ 「NIEをはじめよう」

日時 令和7年6月13日（金） 14：30～16：30

場所 中国新聞ビル702（広島市中区土橋7-1） 約27名参加

実践指定校の先生方22名とNIEアドバイザー5名の参加がありました。朝倉先生の講義では生きるための情報（本質） なぜ新聞か？（特性） どんな力が育つか（資質・能力） 推進のコツは何か」？」（要点・コツ）について具体的に教えていただきました。

第2部【各学校の実践交流】では、校種別に分かれ、各学校の取り組みを交流したり、悩みを共有したりしました。

2024年度（令和6年度）学習会

第112回広島県NIE学習会（広島県公開セミナー）

テーマ「探究学習と取材、整理・分析、発信」

日時 令和7年2月8日（土） 13：30～16：30

場所 中国新聞ビル702（広島市中区土橋7-1） 約50名参加

広島県NIE公開セミナー（兼 第112回NIE学習会）

主催：広島県NIE推進協議会

広島県NIE推進協議会は2月8日、探究学習をテーマに「広島県NIE公開セミナー」を広島市中区の中国新聞ビルで開いた。自ら問い合わせ立て情報を集める探究学習のプロセスと、社会の問題をテーマに情報を集める新聞記者の取材活動が似通っている点に注目。大学教授の講演や、高校生と新聞記者によるパネルディスカッションを通して、探究学習と取材活動の共通点を探った。



講演する削森・広島経済大教授

セミナーは2部構成。第1部は、広島経済大学の削森裕暢教授（教育学）が「新聞で探究の学びを拓こう・開こう」と題して講演した。削森教授は、文部科学省の学習指導要領で求められている探究学習の姿について解説したうえで、気になるニュースについて情報を集め、考え、新聞に投稿する、という自身のゼミでの取り組みを紹介。社会科教員を目指す学生の場合、「教師の働き方改革に不安」や「いじめ防ぐ教員目標」「無理しない部活に」といった新聞投稿を基に、自身の意見をつづって新聞投稿することで、自らの考えを深めていく手法を伝えた。

続くパネルディスカッションは、「探究学習と取材活動の共通点を考える」をテーマに、ノートルダム清心高（広島市西区）と安田女子高（広島市中区）の生徒と、毎日新聞広島支局の根本佳奈記者、中国新聞報道センターの余村泰樹記者が意見を交わした。

ノートルダム清心高は放送部の3人が、今年度のNHK杯全国高校放送コンテストで最優秀に輝いた映像作品の制作について語った。元校長から聞いた校庭に軍需工場があった話をきっかけに調査を始め、工場を作った会社や、学徒動員されていた人からインタビューするなど、どのように情報収集を進めたか説明した。

インタビュー相手を探す際、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館で手記を読み込んだエピソードも披露。3年の山崎一美沙さんは「100件ぐらい読んで、工場で働いていた人が6人見つかった。調べていくことで、数珠つなぎのように取材が広がって楽しかった」。自らテーマを決めて学ぶ探究学習の魅力を「学校だけでなく、いろんな場所でいろんな人に会い、話を聞くことがいい経験になった」と笑顔を見せた。

安田女子高1年の住田友莉愛さんは「若者が広島県を出るのはなぜか？」をテーマにした新聞切り抜き作品を制作し、中国新聞みんなの新聞コンクールで、高校生の最優秀賞に選ばれた。

「地元で進学、就職したいと思っていたので、広島県の人口転出超過が全国一と新聞記事で知って驚いたのが、調べるきっかけになった」。広島県の人口流出について取り上げた新聞記事を集め、その中からセレクトした記事を使ってスクラップ新聞を仕上げた。「自分の考えに近いコメントや内容が



高校生と新聞記者が意見を交わしたパネルディスカッション

書いてある記事を選ぶことで、自分の主張が伝わる作品にまとめることができた」と振り返った。

一方、記者2人は、日々の取材活動の中、記事として取りあげるきっかけや、どのように取材を進めているのか、自身の書いた記事を例に話した。

根本記者は、家族の被爆体験を語り継ぐ「家族伝承者」の取材を進める中、被爆者を父に持つ元テレビアナウンサーを取材した経験を挙げた。取材相手について事前に調べ、質問をまとめてインタビューに臨んだが、「話を聞く中で、新たに聞きたいことがどんどん出てくるし、記事を書き始めた後も聞きたいことができたら電話して取材を重ねた」と、疑問を残さずに取材を尽くす大切さを高校生に伝えた。

広島県の転出超過問題の記事を担当する余村記者は、実際に広島を離れた人々にアンケートして当事者の声を集めながら、さまざまな視点や角度から問題を探る取材について明かした。大きなコンサートやイベントが開かれない「広島飛ばし」の問題では、コンサートの企画会社を取材し、広島県内の会場が抱えるネックに迫った経験を話した。「複数の立場の人から取材することで、問題が明らかになっていく」と話し、「取材相手からポイントになる大事な言葉を引き出すことが重要になる」と強調した。

会場では、教員や中高生たち約50人が聴き入った。「ふだんの勉強と探究学習を、どのように時間を分けて取り組んでいるのか」「自分なりのテーマを見つけるため、どんなアンテナを張っているのか」などの質問が出ると、高校生たちは「集まる時間が限られるので、相談しながら分担している」「日頃から新聞を見たり、LINEで高校生ニュースを見たりして、時事問題に触れるように意識している」などと答えていた。

第111回広島県NIE学習会

テーマ 「県立図書館を子どもたち・先生方に伝えよう」

日時 令和6年12月14日（土） 13：30～16：30

場所 広島県立図書館・情報プラザ 2F 201（広島市中区千田町三丁目7番47号）

実践指定校の教職員15名 一般の教職員4名、5年児童1名 一般2名

NIEアドバイザー4名の参加がありました。

第一部 【講義】「広島県立図書館の紹介」

講師 島県立図書館 調査情報課図書利用係 梅本 和

あらかじめ参加者に知りたいことをアンケートに取っていたので、そのこと

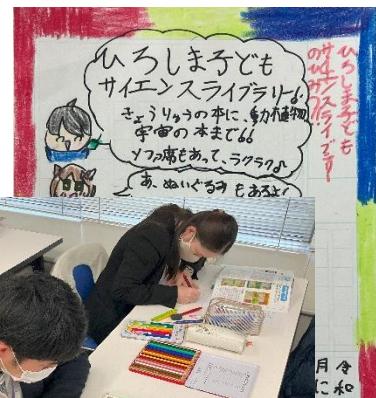
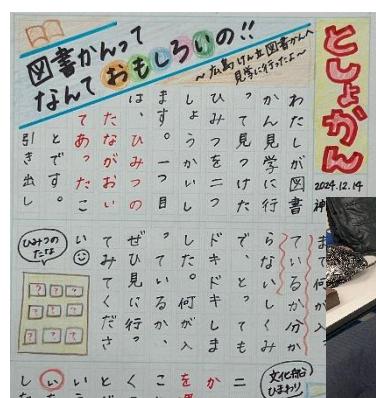
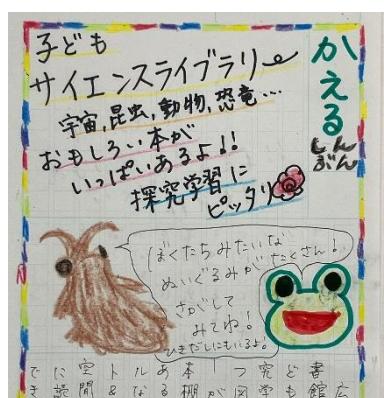
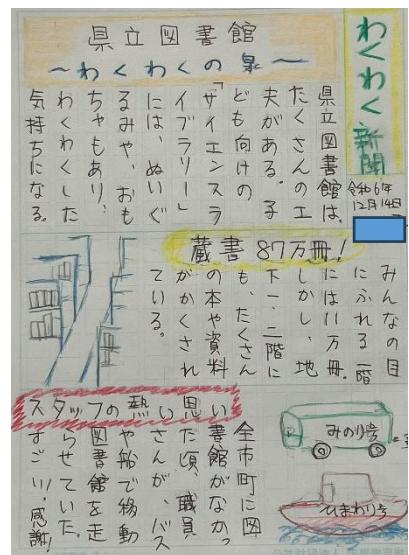
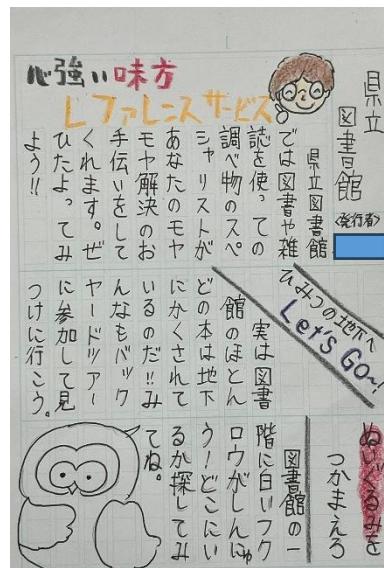
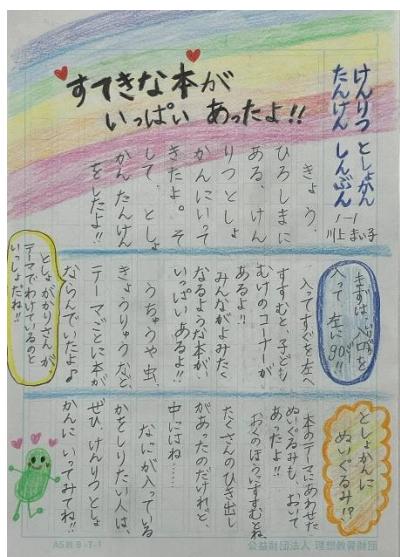
を踏まえ広島県立図書館の所蔵資料、広島県立図書館の主な事業、学校図書館等への支援などわかりやすく話してくれました。各種イベントの、わくわく見学バッックヤードツアーシリーズ、図書と音楽を関連付けたコンサートなど参加者は興味深く聞いていました。

第2部 【見学・取材】

2つのグループに分かれ、見学と「県立図書館の歴史」のDVDを見ました。見学では県立図書館のスタッフが丁寧にレクチャーをしてくださいました。DVDは貴重な映像でした。映像は音声がありませんでしたが、川越副館が説明をしてくださったので、とても分かりやすかったです。

第3部 【ワークショップ】 はがき新聞の作成と交流を行いました。

【はがき新聞の一部】





第109回広島県NIE学習会（兼）ガイダンス

テーマ 「NIEをはじめよう」

日時 令和6年6月14日（金） 14：30 ~ 16：30

場所 中国新聞ビル702（広島市中区土橋町7-1）

実践指定校の先生方21名とNIE学会員1名、NIEアドバイザー4名の参加がありました。朝倉先生の講義では「なぜ新聞なのか」から活用法や推進のコツなどNIEの実践に向け具体的に教えていただきました。

盈進中学高等学校の上山先生の実践発表は、継続的に学校全体での取り組みの発表でした。20分では足りない濃い内容で休憩時間も質問を受けておられる姿がありました。また、グループごとに各学校の取り組みを交流したり、悩みを共有したりしました。

第一部 【NIEの今日的意義ミニ解説】

講師 朝倉 淳 会長

(広島大学名誉教授)



第2部 【実践発表】

講師

上山 朋子教諭（盈進中学高等学校）

(第22回広島県NIE教育奨励賞最優秀賞受賞者)



第3部 【各学校の実践交流】

第4部 【お役立ちガイダンス】

講師

伊藤 一亘

(広島県NIE推進協議会事務局長)

2023年度（令和5年度）学習会

第108回広島県NIE学習会

子どもたちとメディアリテラシー～フェイクに惑わされないために

ICT教育の進展とともに、児童生徒は一人一台タブレット端末が配備され日々の学習でインターネットを活用する機会が増えています。一方、ネット上は真偽不明な情報があふれる「玉石混合」の空間であり、子どもたちにはフェイクに惑わされず、正しく情報を読み解く力（リテラシー）が求められます。広島県NIE推進協議会では公開セミナーを通じ、この問題を考えるきっかけを設けました。

第一部 講演 「情報パンデミックに向き合う知恵」

講師 読売新聞大阪本社 中澤 直紀 氏



「情報パンデミックに向き合う知恵」をテーマに取材した経験をもとに講演された。「ネット空間に、本物っぽいものがあふれ、何が真実で何がウソなのか境界線があいまいになっている今こそ、人間は『見たいものを見ようとする』という脳の癖を知ること、そして、そんな人間に『見たいものしか見せないようにする』ネット特有の仕組みを知り、情報の偏食に陥らないように意識していくことが重要だ」と語り、学校での情報リテラシー教育の必要性を訴えた。

講演を聞いた高校生から「アメリカ大統領選では有権者はフェイクを信じて投票したのか」「賛成意見と反対意見をどう書き分けるのか」などの質問も活発に出された。

(坂口直美NIEアドバイザー)

第2部 クロストーク 「子どもたちに聞く～ネット活用の今」

登壇者 広島大附属中2年 實延 直紀さん
広島中等教育学校4年 川根 董さん
莊山田小（呉市）教諭 高下 千晴さん
広島大附属中・高教諭 鶴田 輝樹さん
ゲスト 中澤 直紀氏
コーディネーター 朝倉 淳会会長



登壇した中高生は、「ネットは、手軽で便利、過去の記事も簡単にさかのぼって見られる」半面「保存期間が短くずっとそこにあるわけではない、玉石混交である」ことに言及し、探究の調べ方や日々の生活においても気を付けていきたいと話していた。
参加者からは「大変活気と学びのあるセミナーだった。普段のちょっとした意思決定の際も、拠り所や根拠となる情報の情報源の正当性に注意するとともに、自分自身の選択基準にも敏感でありたいと感じた。まだ判断力が十分とは言えない小・中学生には、このことをふまえ、授業で情報リテラシーを今まで以上に丁寧に指導する必要がある」(中学校教員)などの感想があった。(坂口直美NIEアドバイザー)

テーマ 被爆を継承し平和を希求する NIE

第1部【講話 取材のポイント】

講師 中国新聞社 読者広報部 標葉 知美



第2部【フィールドワーク「平和記念公園内の慰靈碑めぐり】

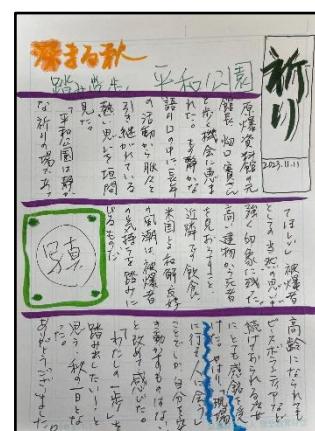
ヒロシマピースボランティアによる解説と取材の実際

※ 平和記念公園へ移動 平和記念資料館東館アオギリ前(屋外)でピースボランティアの森脇透さん、畠口實さんと合流し碑めぐりをしました
1部で学んだ取材のポイントを踏まえ、取材しました。



第3部【ワークショップ はがき新聞制作】

平和記念公園内の慰靈碑めぐりを題材にして取材したこと新聞にまとめました



第106回広島県NIE学習会

(NIE全国大会松山大会 8月3日～4日)

第105回広島県NIE学習会

テーマ 新聞に親しみ、新聞の活用を体験しよう

第1部【新聞の読み方講座】

講師 広島県NIE推進協議会事務局長 伊藤 一亘

第2部【ワーク「まわし読み新聞」を体験しよう】

第3部【ミニ講義「G7報道:教材化の可能性」】

G7報道を学習材にしたNIEアイデア（5月22日付の各紙記事を事例にして）

講師 広島県NIE推進協議会会长 朝倉 淳



過去の広島県NIE学習会(2015~2022年度)

第69回…平成27年 5月16日（土）中国新聞ビル 50名参加

総合司会：朝倉会長

第1部 当日の朝刊各紙を使ったワークショップ
指導：古谷修一先生

第2部 新世代フレッシュ報告
①NIE優秀奨励賞受賞者 実践報告
安田女子中学・高等学校教諭 日高正樹先生
②「ホロコーストを学ぶ」欧洲スタディーツアー参加報告
県立広島高校3年生 河野新大さん
広島女学院高校2年生 鼻岡舞子さん

第3部 小原友行先生・歓送セレモニー

第70回…平成27年7月30日（木） NIE全国大会（秋田市）において実践交流 9名参加

第71回…平成27年10月10日（土）中国新聞ビル 50名参加
総合司会：堤隆一郎先生
第1部 NIE教育実践発表 「被爆70年」（80年への出発点として）
中学校での実践 広島の平和学習について～現状と今後の取り組みについて～
発表：八松泰子先生
高等学校での実践 今、高校生と共に考える
発表：藤田豊先生

第2部 「被爆70年」取材をとおして
朝日新聞広島総局 岡本 玄 記者
毎日新聞広島支局 加藤 小夜 記者
中国新聞報道部 水川 恭輔 記者

第3部 講話「被爆70年をNIEで学ぶ」
講話：朝倉会長

第72回…平成27年11月28日（土）中国新聞ビル 参加者32名
総合司会：山崎敏夫先生

第1部 ガイダンス「新聞が作られるまで～新聞社見学のポイント～」
講師：亀川事務局長
第2部 中国新聞社編集局見学
第3部 ワークショップ「見学成果をもとに壁新聞やポスターをつくろう」
指導：堤隆一郎先生 八松泰子先生 長野由知先生 岡本恵里香先生

第73回…平成28年2月6日（土）中国新聞ビル 参加者40名
総合司会：宮里洋司先生
第1部 NIE実践指定校発表 進行：宮里洋司先生
発表者
小学校「自己エンジン SWITCH ON! ~NIE実践指定校1年目職員研修～」

福山市立御幸小学校 江本 友紀 先生
中学校「NIEで生徒が変わる！」
廿日市市立吉和中学校 岡野 里香 先生
高等学校「経済事象を学び商業教育に生かすとともに、進路指導に時事問題を活用し進路意識の向上を図る」

県立尾道商業高等学校 清水 美江 先生

第2部 報道写真記者に聞く「報道写真が持つ力と取材の苦労」

進行：赤江裕紀さん（中国新聞）

登壇者 読売新聞 近藤 誠 記者

毎日新聞 山田 尚弘 記者

中国新聞 荒木 肇 記者

※ 各発表15分（最大20分）+全体協議20分+写真撮影ワンポイント指南25分

第74回…平成28年5月14日（土）中国新聞ビル 45名参加

総合司会：古谷修一先生

講義「NIEで進める主権者教育」

講義：朝倉淳会長

ワークショップ 憲法記念日（5月3日）の朝刊各紙を使ったワークショップ

指導：古谷修一先生

グループ支援 NIE学習会幹事の先生方

（堤先生 八松先生 日高先生 末吉先生）

第75回…平成28年8月4日 NIE全国大会（大分市）において実践交流 7名参加

第76回…平成28年10月8日（土）広島県立歴史博物館（福山市） 30名参加

総合司会：八松泰子先生

講義 取材から新聞にまとめる（ワンポイントセミナー）

指導：八松泰子先生

講演 広島県立歴史博物館物語 講師 植田館長

施設取材 山本主任学芸員

ワークショップ 取材をもとに「はがき新聞」にまとめる

指導：八松泰子先生 堤隆一郎先生 藤田豊先生

第77回…平成28年12月10日（土）中国新聞ビル 45名参加

第1部 子どもシンポジウム「新聞と成長する私」

〈司会〉 赤江裕紀さん（中国新聞）

〈コメンテーター〉 堤 隆一郎先生

〈シンポジスト〉 北広島町立壬生小学校6年 石橋 花雪さん

広島県立広島中学校2年 茶谷本 瑞桃さん
広島国際学院高等学校1年 松本 卓真さん

第2部：カープ担当記者に聞く「カープ優勝！ 私の一押し記事は」

〈司会〉 末吉 博一先生
〈登壇者〉 朝日新聞広島総局 大隈 崇さん
読売新聞広島総局 北島夏記さん
中国新聞運動部 五反田 康彦さん

【広島県NIE公開セミナーを兼ねる】

第78回…平成29年2月4日（土）中国新聞ビル 80名参加

総合司会：宮里洋司先生

第1部 実践指定校実践発表

○府中市立栗生小学校教諭 西畠恵子先生
○北広島町立千代田中学校校長 藤田典生先生
○県立熊野高等学校教諭 廣田龍治先生

第2部 小原友行先生 記念講演会

講演テーマ NIEとの出会い、発見、感動
～NIEの新たな価値を求めて～

小原先生感謝セレモニー

第79回…平成29年5月27日（土）中国新聞ビル 50名参加

総合司会：堤隆一郎先生

講義「新学習指導要領とNIE～資質・能力の育成に新聞をどう活かすか」

講義：朝倉淳会長
ワークショップ～教材化のアイデア
指導：朝倉淳会長
グループ支援 NIE学習会幹事の先生方等
(堤先生 八松先生 藤田先生 為重先生)

第80回…平成29年8月4日 NIE全国大会（名古屋市）において実践交流 8名参加

第81回…平成29年10月14日（土）広島県立図書館 40名参加

総合司会：八松泰子先生

講演「学校図書館におけるNIE」種谷克彦先生
県立図書館職員による講義と図書館利用法

第82回…平成29年12月9日（土）中国新聞ビル702会議室 41名参加
総合司会：長野由知先生

第1部 発表と交流 1本の記事が共感を呼ぶ、人を動かす
～「通学かばん重過ぎる」をめぐって
登壇者 小桜優実（広大附属東雲中2年 コンクール県知事賞受賞者）

宮口紗久野（牛田中3年 ヤングスポット投稿）
副島英樹（朝日新聞社広島総局長）
※ ラン曉雨記者（コメント配布）
第2部 カープ報道が、人を街を元気づける
登壇者 読売新聞広島総局 大館司記者
日本経済新聞社広島支局 安西巧支局長
中国新聞社 増田泉子編集委員
【広島県NIE公開セミナーを兼ねる】

第83回…平成30年2月3日（土） 中国新聞ビル702会議室 31名参加
総合司会：日高正樹先生

第1部 本年度NIE実践指定校の実践発表
進行：日高正樹先生（安田女子中学高等学校）
発表者 江田島市立中町小学校 中川雄喜先生
海田町立海田西中学校 倉本光先生 片山靖子先生
県立広島井口高等学校 加藤由香里先生
第2部 コラムを授業で活用しよう
進行：堤 隆一郎 先生（日本新聞協会NIEアドバイザー）
① 執筆記者の講話
朝日新聞社 広島総局長 副島英樹さん
中国新聞社 論説委員 石丸賢さん
②教材化ワークショップ
～各紙の朝刊1面コラム（2月1日付）をもとに

第84回…平成30年5月26日（土） 中国新聞ビル704会議室 59名参加
授業実践・生徒指導に役立つNIE入門
—夏に向けての取り組みのアイデア—
総合司会：為重 慎一先生

第1部 【講義】新聞の特性を生かして授業・学校を活性化する
講師 朝倉 淳会長
第2部 【解説とワークショップ】平和学習など、これから使えるアイデアのいろいろ
講師 朝倉淳会長 堤隆一郎先生 八松泰子先生
坂口直美 先生 為重慎一先生

第85回…平成30年7月26日 NIE全国大会（盛岡市）において実践交流 8名参加

第86回…平成30年10月13日（土） 中国新聞ビル702会議室 34名参加
大規模災害とNIE —児童・生徒の深い学びにつなげるために—
総合司会：八松 泰子先生
第1部 報告 全国大会（盛岡大会）に学ぶ災害とNIE
第2部

事例発表 「災害を児童に伝える学校新聞博物館の取組 西日本豪雨災害から学ぶ」

発表者 三原市立糸崎小学校教頭 宮里 洋司 先生

ワークショップ 「新聞は何をどう報じたのか—教材化の視点—」

講師 広島県NIE推進協議会会長 朝倉 淳 先生

グループ支援 NIE 学習会幹事団の先生方等

堤隆一郎先生 古谷修一先生 藤田豊先生 宮里洋司先生

長野知由先生 為重慎一先生

第87回…平成30年12月8日（土） 中国新聞ビル702会議室 52名参加

西日本豪雨災害とNIE—新聞報道から、何をどう学ぶのか—

総合司会 堤 隆一郎先生

第1部 子どもシンポジウム「災害や災害報道から学んだこと」

司会 日本新聞協会NIEアドバイザー 堤 隆一郎先生

登壇者 広島市立古田小学校6年生 植野 みなみさん

安田女子中学校3年生 吉田 舞さん

安芸高田市立甲田中学校1年生 富永 凜さん

富永ファミリー新聞(お母さん) 富永 美香さん

県立西条農業高等学校新聞文芸部（3年生） 迫川 優大さん

第2部 新聞記者に聞く

「災害をどう捉え考え伝えたのか 一紙面にこめた思いや苦労を知るー」

司会 広島国際学院高等学校教諭 為重 慎一先生

登壇者 朝日新聞広島総局記者 大瀧 哲彰さん

読売新聞広島総局記者 渡辺 彩香さん

中国新聞社編集局整理部メディア関門デスク 島田 俊之さん

第88回…平成31年2月2日（土） 中国新聞ビル702会議室 28名参加

総合司会 藤田 豊先生

第1部 実践指定校等実践発表

コーディネーター 藤田 豊先生

尾道市立美木原小学校 白石 喜子先生

呉市立蒲刈中学校 松元 栄子先生・古土井 敏江先生

広島国際学院高等学校 為重 慎一先生

第2部 講演「NIEの魅力と可能性」

講師 日本新聞協会NIEコーディネーター 関口 修司先生

第89回…令和元年5月25日（土） 中国新聞ビル702.703会議室 61名参加

総合司会 宮里 洋司先生

第1部 講義 新聞の読み比べで育つ資質・能力

講師 広島県NIE推進協議会会長 朝倉 淳先生

第2部 解説とワークショップ

講師 広島県NIE推進協議会会長 朝倉 淳先生
グループ支援 堤 隆一郎先生 八松 泰子先生 藤田 豊先生
宮里 洋司先生 為重 慎一先生 鶴田 輝樹先生

第90回…令和元年8月1日 NIE全国大会（宇都宮市）において実践交流 5名参加

第91回…令和元年10月12日（土）広島県立歴史博物館（福山市） 20名参加
総合司会 八松 泰子先生
施設取材からグループ壁新聞づくりを教材化
～県立歴史博物館の工夫を探る活動を通して～
講義 「人に伝える」新聞づくりのこつ
講師 日本新聞協会NIEアドバイザー 藤田 豊先生
県立歴史博物館の取材
講師 広島県立歴史博物館主任学芸員 久下 実先生
施設取材 （学芸員の説明）常設展示を見学しながら取材
取材をもとに「グループ壁新聞」にまとめる
グループ支援：堤 隆一郎先生 八松 泰子先生 鶴田 輝樹先生

第92回…令和元年12月7日（土）中国新聞ビル704会議室 37名参加
総合司会 堤 隆一郎先生
思いがつながる新しい新聞の読み方「まわしよみ新聞」
講義 「まわしよみ新聞の意義と役割」
講師：広島県NIE推進協議会会長 朝倉 淳先生
「まわしよみ新聞」を体験してみよう
ファシリテーター：広島県NIE学習会幹事団 為重 慎一先生
グループ支援：広島県NIE学習会幹事団の先生方
朝倉 淳会長 堤 隆一郎先生 八松 泰子先生
藤田 豊先生 宮里 洋司先生 鶴田 輝樹先生
【広島県NIE公開セミナーを兼ねる】

第93回…令和2年2月1日（土） 中国新聞ビル702会議室 45名参加
総合司会 堤 隆一郎先生

第1部 実践指定校等実践発表

- 進行：日本新聞協会NIEアドバイザー 堤 隆一郎先生
- 三原市立田野浦小学校 小出 裕義先生
 - 広島市立可部中学校 田中 征治先生
 - 広島大学附属中・高等学校 鶴田 輝樹先生

第2部 NIE子どもシンポジウム「新聞と成長するわたし」

- 進行：日本新聞協会NIEアドバイザー 宮里 洋司先生
- 登壇者 安田学園安田小学校5年生 小松 沙羅さん
 - 呉市立蒲刈中学校1年生 丸山 寧々さん
 - ノートルダム清心高等学校1年生 岡本 和奈さん

第94回…令和2年5月16日（土）

新型コロナウイルス対策のため中止

第94回…令和2年10月3日（土） 中国新聞ビル702会議室 20名参加

オンラインまわし読み新聞

総合司会 宮里 洋司先生

講義「コロナ禍で考える学校教育と新聞」

講師：広島県NIE推進協議会会長 朝倉 淳先生

オンライン「まわし読み新聞」

グループ指導 坂口直美先生 八松泰子先生
鶴田輝樹先生 池田昂樹先生

第95回…令和2年11月22日（日） NIE全国大会 東京大会 参加者数不明

オンライン開催

大会報告 鶴田輝樹先生 池田昂樹先生 堤 隆一郎先生 為重 慎一先生

第96回…令和2年12月12日（土） 中国新聞ビル702会議室

新型コロナウイルス対策のため中止

第96回…令和3年2月6日（土） 中国新聞ビル702会議室 40名参加

第1部 新聞と成長するわたし

今年度の各種新聞コンクールにおいて受賞されたお二人の児童生徒に、その学校でNIE活動を推進している先生（日本新聞協会NIEアドバイザー）がお話を伺います。

第2部 実践指定校実践発表

NIE実践指定校で昨年度の広島県NIE教育奨励賞を受賞されたお二人の先生から日頃の実践について伺います。

発表者 安芸高田市立甲田小学校 秋山 美保 先生
広島三育学院中学校 山木 肖嗣 先生

第97回 令和3年5月23日（日）13：30～16：00

- 場所 ZOOMによるオンライン開催
- 内容 『さあ はじめようNIE—その魅力と方法—』

第1部 【講義】 新聞の読み比べで育つ資質・能力

講師 広島県NIE推進協議会長・安田女子大学教授 朝倉 淳

第2部 【リレー講演】 NIE推進協議会幹事団による「わたしのお薦め活動紹介」

- 1 読む・選ぶ・書く—教科学習に生きる基本的な活用例—

講師 池田 昂樹（安田女子中学高等学校）

- 2 キャリア教育と小論文指導に生きる活用例

講師 為重 慎一（広島国際学院中学校・高等学校）

第98回 令和3年10月9日（土）13：30～15：40

- 場所 ZOOMによるオンライン開催
- 内容

第1部 【NIE実践報告座談会】

〈コーディネーター 宮里 洋司NIEアドバイザー〉

- ① NIE実践発表～第19回教育奨励賞受賞校から

・海田町立海田西小学校 藤井 雅子 先生
・広島国際学院中・高等学校 為重 慎一 先生
・広島県立尾道商業高等学校 藤居 真路 先生

- ② 座談会

参加者 NIE実践発表者他

第2部 【NIEとSDGs～第99回学習会に向けて】

話題提供 広島大学附属中・高等学校 鶴田 輝樹先生

聞き手 広島県NIE推進協議会長・安田女子大学教授 朝倉 淳

第99回 令和3年12月9日（土）13：30～15：40

- 場所 中国新聞ビル7階会議室（広島市中区土橋町7-1）
- 内容 「NIEとSDGs」

第1部 【講義】 学校におけるSDGsの展開とNIE

講師 広島県NIE推進協議会会长・安田女子大学教授 朝倉 淳

第2部 【ワークショップ】 SDGsまわしよみ新聞

コーディネーター 広島県NIEアドバイザー

広島大学附属中・高等学校 鶴田 輝樹先生

第100回記念 令和4年5月8日（日）13：00～16：30

- 場所 中国新聞ビル ホール
- 内容 「広島発：新時代の学びとNIEの未来」

開会行事

会長挨拶	広島県NIE推進協議会会長	安田女子大学客員教授	朝倉 淳
来賓挨拶	広島県教育委員会	教育長	平川理恵 氏
	広島市教育委員会	教育長	糸山 隆 氏

第1部 記念講演 『広島県NIEの歩みと未来への期待』

講師 小原 友行 氏
前広島県NIE推進協議会会長（福山大学教授・広島大学名誉教授）

第2部 子どもNIE実践発表

発表者	海田町立海田西小学校6年	御堂河内 咲さん
	広島大学附属高等学校1年	小川 友寛 さん
コメンテーター	前広島県NIE推進協議会会長	小原 友行 氏

第3部 シンポジウム

「本当に必要な情報活用力を育てる
—デジタル・オンライン時代のNIEの意義と可能性—」

シンポジスト	海田町立海田西小学校教諭	藤井 雅子 氏
	日本新聞協会NIEコーディネーター	関口 修司 氏
	中国新聞社 デジタルチーム記者	奥田 美奈子氏
コーディネーター	広島県NIE推進協議会会長	朝倉 淳

閉会行事

第101回…令和4年8月4日、5日 NIE全国大会（宮崎市）において実践交流 11名参加

第102回 令和4年10月9日（日） 13：30～16：30

■ 場所 広島県立図書館・情報プラザ 2F 201（広島市中区千田町三丁目7番47号）

■ 内容 テーマ 県立図書館を子どもたち・先生方に伝えよう

第1部 【講義・見学】

講義 NIEと学校図書館

講師 元尾道市立美木原小学校校長 杉原しのぶ 氏

解説と見学 広島県立図書館の機能

講師 広島県立図書館調査情報課長 今岡 亜樹子氏

図書館のバックヤード等を見学しながら解説をしてもらいます！

第2部 【ワークショップ】

活動 はがき新聞の作成と交流

進行 広島県NIEアドバイザー 八松 泰子 氏

第103回 令和4年12月12日（日） 13：30～16：30

■ 場所 中国新聞ビル 702

■ 内容

第1部 【講義】	「新聞と戦争の歴史」	
<u>講師</u>	広島県NIE推進協議会会長	朝倉 淳
第2部 【ワークショップ】	切り抜き新聞の作成と交流	
	「新聞で平和への希望を見つけよう」	
<u>進行</u>	NIEアドバイザー	為重 慎一
<u>講評</u>	NIEアドバイザー	宮里 洋司

第104回 令和5年2月5日（日） 14：00～16：30

■ 場所 中国新聞ビル（広島市中区土橋町7-1）

■ 内容 テーマ 子どもたちと新聞との関わり

第1部 【NIE子ども座談会】		
<u>登壇者</u>	高屋西小学校4年	長野 由稟 さん
	(第13回いっしょに読もう！新聞コンクール優秀賞受賞)	
	安田小学校5年	徳永 美月 さん
	(第13回いっしょに読もう！新聞コンクール優秀賞受賞)	
	広島大学附属中学校1年	山本 韶 さん
	(第22回みんなの新聞コンクール最優秀賞受賞)	
<u>コーディネーター</u>	NIEアドバイザー	宮里 洋司

第2部 【NIE対談～記者と語る～】

<u>登壇者</u>	広島大学附属高等学校1年 田口 詩乃 さん
	(第22回みんなの新聞コンクール最優秀賞受賞)
	中国新聞編集局論説委員室特別委員 石丸 賢 さん

第3部 【NIE実践発表】

<u>登壇者</u>	賀茂川中学校教諭	土屋美智子 先生
	(第22回みんなの新聞コンクール学校賞受賞校)	
	広島大学附属中・高等学校 鶴田 輝樹 先生	
	(第22回みんなの新聞コンクール学校賞受賞校)	

(第13回いっしょに読もう！新聞コンクール優秀学校賞受賞校)

第105回 令和5年6月4日（日） 13：30～16：30 30名参加

■ 場所 府中町立府中公民館

■ 内容 テーマ 新聞に親しみ、新聞の活用を体験しよう

第1部 【新聞の読み方講座】		
<u>講師</u>	広島県NIE推進協議会事務局長	伊藤 一亘
	(中国新聞社 総務局 読者広報部担当部長)	
第2部 【ワーク 「まわし読み新聞」を体験しよう】		
<u>講師</u>		伊藤 一亘

講評

広島県N I E推進協議会会長

朝倉 淳

(広島大学名誉教授)

第3部

【ミニ講義 「G 7 報道：教材化の可能性」】

G 7 報道を学習材にしたN I Eアイデア

(5月22日付の各紙記事を事例にして)

講師

朝倉 淳